学芸会配役

大臣（えらそう）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　◎→けんやく不可

ＳＰ１（ずっこけ）

ＳＰ２（ずっこけ）

怪しい老人（老人らしく）

すすむ（反抗期少年）

子１（なまいき）

子２（なまいき）

子３（なまいき）

子Ａ（反抗期経験者）

子Ｂ（今どき）

子Ｃ（今どき）

大人１（何かと兼役）

大人２（何かと兼役）

大人３（何かと兼役）

大人４（何かと兼役）

大人５（何かと兼役）

先生（不気味）

教頭（不気味）

校長（不気味）

医者１（不気味）

医者２（不気味）

医者３（不気味）

医者４（不気味）

お父さん（変化がすごい）

お母さん（変化がすごい）

サラリーマン１（ダンス）

サラリーマン２（ダンス）

サラリーマン３（ダンス）

サラリーマン４（ダンス）

照明スポット１

照明スポット２

劇中歌１

劇中歌２

大人アシスタント

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）◎

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

（　　　　　　　　）

〔一場　〕プロローグ編

　　　　大臣が下手から歩いてくる　子どもＡＢＣが上手から走ってくる

　　　　大臣とぶつかる→大臣ふっとぶ　子ども達、そのまま行こうとする。

大臣　「いった、ちょ、ちょっと待ちなさい！君たち。」

子１　「うわ、何このおっさん。」

子２　「ちょっとえらそうなんですけど。」

子３　「あ、この人知ってる。日本のトップ。総理大臣でしょ。」

大臣　「いかにも！総理大臣である君たち！人にぶつかったときはどうするのかな？」咳払い

子全　「うーん・・・」

子１　「総理にぶつかり」

子全　「アイムソーリー」

子２　「おまけにそのひげ」

子全　「ひげそーリー」

大臣　「こらー！」

子３　「こんな時には」

子全　「にげるんだー」　ひげそーりーのリズムで　子ども達、上手に逃げる。大臣おわない。

　　　　暗転（大臣にスポット）

大臣　「はあ・・・まったく最近の子どもは。」

　　　　♪：ＳＰ登場音楽

ＳＰ１「どうしましたーそうりー！」

ＳＰ２「大丈夫ですかーそうりー！」

大臣　「おそいわ！お前たち、それでもＳＰか！しっかりと私の安全を守りたまえ・・・

　　　　あ！スズメバチ！（♪：ハチ）お・・・お前たち！」

　　　♪：ＳＰの音楽

ＳＰ１「どうしましたーそうりー！」総理大臣にだきつきながら

ＳＰ２「大丈夫ですかーそうりー！」総理大臣にだきつきながら

大臣　「おい！私が守ってどうする！」とか言いながらＳＰを守っている。

大臣　「それにしても、本当に最近の子ども達はなっとらん！お前たちを含む大人たちもだ！この前も選挙で私の人気を下げるようなことを言いおって。」

ＳＰ１「本当にね、いくらわがままで自分勝手で、お金もごまかして、ずるいこともしてるからって・・・あ！」

ＳＰ２「こら、お前、いくら本当のことでこいつ最悪だからって・・・あ！」

大臣　「こらー！」

　　♪：怪しい曲＋老人が下手から登場

老人　「何やらお困りのようですね。どうされましたか？」

大臣　「誰だ、貴様は！おい！ＳＰ。こういう時こそ出番だぞ！私を守りたま・・え？」

　　　　ＳＰの二人、固まってずっと動かない。※時が止まっている。

老人　「ふふふ、気にされずに。それよりも、何かお困りの用で。」

大臣　「ふん・・・お前に言ってもわからんかもしれんがな。一国の大臣として、私はこの国を嘆いている。子ども達の言葉づかい、大人への反抗。そんな大人だってそうだ。みんなでわしのことをバカにする。私はこの国を変え、人々を変えたい」

老人　「子どもを変える・・・そのためにはまず、大人を変えるしかありませんな。」

大臣　「そうだそうだ。お主、よくわかっているではないか。」

老人　「ふぉふぉふぉ、そんな貴方様に・・・ぴったりのものを差し上げましょうぞ。」

大臣　「ん？なんだこの汚い鍵は・・・まさか。おい！ＳＰ。おい！起きろ！」

ＳＰ全「おはようございます。今日も一日がんばります！」

大臣　「ちょっと・・・・こい！」

　　　　ＳＰと舞台へ消えていく。遠くからＳＰの叫び声。

　　　　あわてて走ってくる。

大臣　「こ・・・これは、この鍵は！この鍵さえあれば。ふ、ふははははは。

　　　　あーはっはははははは！」

　　　※このセリフの時に舞台を少しずつ閉めていく。

　　　　できたら中で大人会議の会場をつくる（無音で）

〔二場　〕すすむの家編

　　　♪：大人会議の音楽＋ＶＴＲを流す（その前にジャパネットのＣＭ）

　　　　「ここで本日５２回目の緊急ＣＭを流します」

　　　♪「大人　大人　大人会議×２

　　　　　父さん仕事でくたくたに

　　　　　母さん子育て大変だ

　　　　　大人　大人　大人会議×２

　　　　　みんなで行こうよ　大人会議」

　　　　舞台下右側にスポットをあてる。※ここがすすむの家

すすむ「はあ、このＣＭ何回目だよ！本当にしつこいな！」

　　　♪：そうじきの音　母が近づく

母　　「すすむ、何時だと思っているの！早く学校へ行きなさい。」

すすむ「はあ、この説教何回目だよ！本当にしつこいな！」

母　　「返事は！」

すすむ「うるっせーな！しつこいんだよ！」

母　　「何ですって？ちゃんと返事しなさい」

すすむ「返事ってどうやるんですかー？」ふざけながら

母　　「はいって言うのよ。」

すすむ「はいって言うのよ～」ふざけながら

母　　「もう！あなたからも何か言ってよ。」

　　　　新聞紙で顔を隠しているが、しばらくして覗かせて

父　　「・・・母さん・・・・・ごはん。」

母　　「きー二人ともさっさと出てけ～」母、そうじきを砲丸投げみたいに振り回す。

　　　　すすむ、あわててランドセルをかけて、外へ飛び出す。

　　　　父、ゆっくりと新聞に顔を戻す。

母　　「・・・あなた。」

父　　「うん？」

母　　「やっぱり、大人会議、参加しなくちゃだめかしら？

　　　　何だかあやしくて。」

父　　「政府からの命令だからな。当り前だろう。」

母　　「そ、そうよね。じゃあ準備しなくちゃね。」

　　　　二人で大人会議へと向かう

　　　　スポット、右から左へとうつる。

〔三場　〕すすむ達のぐち話編

　　♪：チャイム

すすむ「はあ、本当に何なんだよ！あの母親は！朝から

　　　　ガミガミガミガミガミガミガミガミガミ！」

子Ｂ　「わかる！うちも朝から

　　　　ペラペラペラペラペラペラペラペラペラ！」

子Ｃ　「まだいいよ。うちなんて朝から

　　　　ゴリゴリゴリゴリゴリゴリゴリゴリゴリ！」こぶしのジェスチャーつき

進＋Ｂ「ははは。」

子Ｂ　「いいかげん、ご飯食べなさい！」すごくふざけながら

子Ｃ　「いつまでテレビを見ているの！」すごくふぜけながら

すすむ「わかるわかる。わかってるんだけど・・・」

子全　「うるさいんだよねー！」

子Ｂ　「あ、そういえば、最近テレビでやってる、大人会議。あれやばくね？」

子Ｃ　「あれでしょ。大人が今日の午後２時に全員役場に集まるやつでしょ。」

すすむ「うん、あのＣＭすごくしつこい！」

子全　「大人、大人、大人会議♪」

子Ｂ　「何なんだよ、大人会議って。」

子Ｃ　「さあ、でも大人は絶対全員参加みたいだよ。」

すすむ「見方を変えてみて、つまりーその時間、役場以外には・・・」

子全　「子どもしかいない！イエーイ！」

〔四場　〕大人会議会場

　　　♪：大人会議の歌＋ガヤガヤ　幕がゆっくりと開き、大人会議の会場が現れる

　　　　子役以外、なるべくたくさんの人がここにはいる

　　　　母＋父がおそるおそる会場に足を運ぶ

母　　「すごい人数ね。」

父　　「うん、これは驚いた、おそらく全ての人がここに集まっている。」

母　　「一体、何が始まるのかしら。」

父　　「さあ・・・な。」

　　　　人ごみの中に入って行く。

大人１「いつまで、待たせる気だ―！」

大人２「早くしろー！」

大人３「一体何が始まるんだ！」　　　全ての大人が半ば怒りをこめて叫ぶ

　　　♪：マイクのハウリング音

大臣　「ええ・・・みなさん、よく集まっていただきました。」

大人４「おお、あの人は確か・・・・」

大人全「総理大臣！」

大臣　「いかにも・・・私が総理大臣である。」

大人５「そんなことはどうでもいいから、早く始めろー。」

大人全「そうだ、そうだ！」

大臣　「ええ・・・おほん！それでは・・・今から、大人会議を始める。」

　　　　舞台暗転→不気味な音が流れる。

〔五場　〕すすむの家

　　　♪：不安な音楽

すすむ「はあ、もう夜の十時だ。まだ大人会議ってのは終わらないの？父さん、母さん、遅いな。」

　　　♪：やたらと明るい音楽

母　　「たーだいまールンタッタルンタッタ！」踊りながら

父　　「たーだいまールンタッタルンタッタ！」踊りながら

母父　「たーだーいーまー！」ここで劇団仕込みのハモリ

母父　「ただいまー。」決めポーズ

すすむ「う・・・うざすぎるんですけど・・・二人とも」

父　　「うざい・・・？あ、うざいうざい、ほうこうざい。」ラップ

母　　「あ、うざいうざい、とうざいなんぼく！」ラップ

父母　「大人、大人、大人会議♪」スキップ

すすむ「う・・・うん。俺・・・寝るわ。お休み・・・。」

　　　　すすむ、下手へはける→暗転

　　　♪：すすむの声

　　　「明らかにテンションが高い。よほどの楽しいことがあったのだろう。

　　　　次の日も、大人会議があり、二人は楽しそうにでかけていった。

　　　　もしかしたら、ここで止めておけば、良かったのかもしれない。」

〔六場　〕大人会議会場その２

♪：大人会議の歌＋ガヤガヤ

大人１「早く、はじめてくれー」

大人２「もう一度やってくれー」

大人３「大人会議さいこー」　　　喜びながら叫ぶ

　　　♪：マイクのハウリング音

大臣　「ええ・・・みなさん、よく集まっていただきました。」

大人４「いよっ！」

大人全「総理大臣！」

大臣　「いかにも・・・私が総理大臣である。」

大人５「わかってまーす、早く始めてくださいー。」

大人全「そうだ、そうだ！」

大臣　「ええ・・・お、おほん！それでは・・・今から、大人会議を始める。」

　　　　大臣、あまりの反響ぶりにちょっと戸惑う感じ

　　　　舞台暗転→不気味な音が流れる。

〔七場　〕すすむの家その２

　　　♪：不安な音楽

すすむ「はあ、大人会議、今日も時間かかっているな・・・まだ帰ってこないのか。」

　　　♪：やたらと明るい音楽

母　　「たーだいまールンタッタルンタッタ！」踊りながら

父　　「たーだいまールンタッタルンタッタ！」踊りながら

母父　「たーだーいーまー！」ここで劇団仕込みのハモリ

母父　「ただいまー。」決めポーズ

すすむ「ね・・・寝るわ。俺。」→下手の学校ステージへとうつる。

　　　　暗転

　　　♪：すすむの声

　　　「こうして、父と母は毎日のように大人会議に出かけるようになった。

　　　　初めは楽しそうにしていた大人たち。しかし、１週間が過ぎたころから、

　　　　明らかな異変に僕たちは気づくことになる。」

〔八場　〕学校での異変

　　　♪：チャイム

子Ａ　「大人会議、続くね。」どこかおかしい雰囲気で

子Ｂ　「うん、こんなに続くとは思わなかった。」

子Ｃ　「大人たちがいなくて、せいせいするよね。」心ない声で

すすむ「そ、そうだね。」

子Ａ　「あ・・・あのさ、」

すすむ「な、何？」まってましたと言わんばかりに

子Ａ　「う、うちの親がさ、」

子全　「うんうん！」

子Ａ　「さ、最近ちょっと変で。」

子Ｂ　「ど、どう変なの？」

子Ａ　「変って言うか・・・明るいって言うか・・・」

子Ｃ　「それなら、いいんじゃ・・・ない。」

子Ａ　「いや、違うんだ・・・簡単に言うと・・・」

子全　「簡単に言うと？」

子Ａ　「お、怒らないんだよ。何をしても。」

子Ｂ　「え・・・お前のところも？」

子Ｃ　「うちもだよ。」

すすむ「うちもだ・・・どういうことだ・・・怒らないなんて・・・。」

子Ａ　「あ、先生と、校長に教頭だ。」

　　♪：大人会議

　　　　スキップをしながら教員登場ルンタッタダンス

子Ｂ　「た、ためしてみるか。」

子Ｃ　「おこらないかどうかね。」

先生　「はい、それではこれから勉強を始めましょうね。」

子Ａ　「せんせーい、勉強なんてめんどくさいでーす。」

先生　「・・・まあ、なんて素敵なの！先生もね、勉強なんてだいきらい！そうだわ！勉強、やめ

　　　　ましょう！うんうん、よーし、先生遊んじゃう！」→ポケットからゲーム。

子Ｂ　「教頭せんせーい、学校に関係のないものたくさんもってきちゃいました。」

　　　　ランドセルからいくつか出てくる。（ひっくり返すと）１０個くらい

教頭　「・・・ほう！なんて素敵なコレクション！だがな、わしも負けておらん！」

　　　　しょってきたリュックをひっくり返すと、出るわ出るわジャラジャラと。１００個くらい

子Ｃ　「校長せんせーい・・・えっと・・・うんっと・・・・・ばーか。」

校長　「な・・・なに！・・・・ばか・・・ばか・・・・からし！」

子全　「しりとりかい！」

すすむ「どうして、どうして先生たちはおこならないんですか？」

校長　「おこ・・・る？おこるって、何だい？」

子Ａ　「こうやって、きびしく言うことですよ！」

先生　「こわいこわい～やめてよ～。」

子Ｂ　「どうしちゃったんですか！」

教頭　「どうもこうも、いつも通りだよ？」おもちゃを入れながら

子Ｃ　「一体、大人会議で何があったんですか？」

　　　この瞬間、教員３人は子Ｃの肩を一瞬でグイっとつかみ、ものすごい形相をする。♪不気味

　　　そして声を合わせて

教員達「大人会議に、子どもはふれてはならない！」太い声で　暗転＋スポット（可能なら）

　　　子Ｃ、しばらく立ち尽くす　　先生たち、元の様子に戻る。先生ゲームをしながら

先生　「さあ、じゃあ、今日の学校はここまで。」

　　　　教員達、立ち去る前に再び、子Ｃの肩をつかみすごい顔をする。そのまま下手へ

子Ｃ　「はあ・・・こ、こわかった・・・。」

すすむ「いったい、何なんだ。何かあるな。大人会議には。」

子Ａ　「うん、絶対に・・・大人に何かあった・・・そう考えるのが普通だよ」

子Ｂ　「よし、こうなったら、大人会議、こっそり見に行こう。」

すすむ「そうだね。じゃあ、みんなで、うちの親をつけていこう。もうすぐでかけると思うから。」

　　　　すすむの家では、父、母が今まさにでかけようとしている。

　　　　その２人をこっそりとつけていく子ども達

〔九場　〕大人会議（山場）

♪：大人会議の歌＋ガヤガヤ

大人１「早く、はじめてくれー」

大人２「もう一度やってくれー」

大人３「大人会議さいこー」　　　喜びながら叫ぶ

　　　　子どもたち、ステージ上手に身を小さくしてかたまる

すすむ「き、来たね。」

子Ａ　「すごい人達だ。」

子Ｂ　「みんなの親もいるね。」

子Ｃ　「みんな、笑ってる・・・こわい。」

♪：マイクのハウリング音

大臣　「み・・・・みなさん・・・よく集まっていただきました。」

大人４「アハハ、いよ！」

大人全「総理大臣！アハハハハ」

大臣　「そうだ・・・私が総理大臣だ。」

大人５「わかってまーす、アハハハハ。」

大人全「そうだ、そうだ！アハハハハ。」

大臣　「ええ・・・・・今から、大人会議を始める。」

大人全「待ってました～」大人すごく盛り上がる、ビンが割れる音でシンとなる。♪パリン

すすむ「あ、なんか、怒っている大人たちが来たよ。」

子Ａ　「本当だ！怒っている。」

　　　　頭にネクタイなどをまいたり、飲んだくれて、フラフラのサラリーマン（手には酒瓶）

　　　　がやってくる。全員怒り狂っている　　　♪：いかりの音楽

サラ１「やってられるかっつーの！」

サラ全「やってられるかっつーの！」

サラ２「何が会社だ！」

サラ３「何が組織だ！」

サラ４「何が上司だ！」

サラ１「ちょっとの間違えで」

サラ全「コラー！」ガオーみたいに

サラ２「あやまったって。」

サラ全「コラー！」

サラ３「泣いたって」

サラ全「コラー！」

サラ４「おまけに家に帰ってもおくさんに」

サラ全「コラ！コラ！コラー！」※コラをいいながら、少しずつ大臣に近づいていく

　　　　大臣に近づきすぎて、ＳＰに止められる

ＳＰ１「おやおや、おやだかじゃないですね。どうされましたか？」

サラ１「どうされましたかって？」

サラ２「聞いてくださいよ。」

サラ３「俺達、しがないサラリーマン。」

サラ４「俺達は、おこってるんだ！」

サラ１「ちょっとの間違えで」

サラ全「コラー！」ガオーみたいに

サラ２「あやまったって。」

サラ全「コラー！」

サラ３「泣いたって」

サラ全「コラー！」

サラ４「おまけに家に帰ってもおくさんに」

サラ全「コラ！コラ！コラー！」

ＳＰ２「わ、わかりました。あなた達の悩みは、この大人会議ですぐに解決できますよ。」

大臣　「それではみなさん、怒れる人からどんどん並んでください。今日もどんどん入れ替えてい

　　　　れかえていきましょう。」

子Ｂ　「入れ替える？今、入れ替えるっていったよね？」

子Ｃ　「う・・・うん。一体何を入れ替えるの？」

　　　♪：大人会議

　　　　この時、下手から、大量の心の器が運ばれてくる。

　　　　あやしい医者４人もこの時、出てくる

すすむ「あ！見て、何か大量の器が運ばれてくる。」

サラ１「ようし、よくわからんが、俺達からたのむ～」

　　　　大臣たちを通り過ぎて、医者４人の前に並ぶ。

　　　　医者達は手際よく、４人をイスに座らせる。※しばってもいいかも

サラ２「なあ、いったい、何をするんだ。」

医者１「なあに・・・簡単なことですよ。目を閉じて、息を大きく吸っていただければすぐ。」

医者２「後は、この鍵で・・・」

サラ３「その鍵で・・・？」

医者全「あなた達ののつらい心を入れ替えるのです。」

サラ４「そんなばかな！」

医者３「さあ！」強引に始める

医者４「目を閉じて」

医者１「さあ！」

医者２「息をすって」

医者３「さあ！」

医者４「楽になりましょう」

医者全「楽になりましょう！」

　　　♪：ガチャ→入れ替える音

サラ全「うわー！」

　　　　この音に合わせて、医者達はそれぞれの鍵で、サラリーマンの心を赤から青の色に入れ

　　　　かえる。

医者１「はい。終わりました。」

医者２「気分はどうですか？」

医者３「あなた達のいかりの心は、我々が大切に管理しますので。」

医者４「残された楽しいだけの心で、世の中を明るくしていってください。」

　　　　サラリーマン４人、無言でネクタイをしっかりとしめなおし、舞台の真中へ行く。

　　　　♪：サラリーマンの歌＋ダンス

　　　　サラリーマン、サラリーマン

　　　　ペコペコペコペコおじぎして（おじぎ＋顔をキュッキュ）

　　　　サクサクサクサク名刺出す

　　　　サラリーマン、サラリーマン、

　　　　ペコペコペコペコおじぎせず

　　　　ビリビリビリビリ名刺捨て

　　　　サラリーマン、サラリーマン

　　　　やめちゃえやめちゃえ！サラリーマン！フゥー！

　　　　サラリーマン、サラリーマン、フゥー！イエー！→楽しそうに下手へ去っていく。

すすむ「あれだけ怒っていたのに・・・すごく楽しく帰って行った。」

子Ａ　「大人会議の正体はこれだったんだ。大人の心を入れ替えてたってことだったのか。」

子Ｂ　「でも・・・こんなの・・・こんなの・・・。」

子Ｃ　「あ、あれ、すすむの父さん、母さんじゃない？」

医者１「さあさあ、どうぞどうぞ。」

医者２「ちょっとでもつらいことがあったら、どんどん入れ替えていきましょう。」

医者３「それでは、目を閉じて」

医者４「息を吸って・・・」

すすむ「ま・・・待って！」飛び出す。

大臣　「何だお前たちは！であえ～！であえ～！」

　　　♪：侵入者です侵入者です　子ども侵入者です。

子Ａ　「まずい、にげるぞ！」

　　　♪：逃げる音楽

　　　ＳＰをコミカルにかわしていくが、結局たくさんの大人たちにつかまってしまう。

ＳＰ１「おやおやおや、君達、何をしに来たのかな？」

ＳＰ２「ここは君達、子どもの来るところじゃないはずだが？」　すごむ

大人全「ええ？」すごい声ですごむ　子ＡＢＣ下をむく

すすむ「僕は・・・僕はおかしいと思います。・・・こんなの間違っていると思います。」

大臣　「ほう、なぜ？大人達がつらい気持ち、怒りの気持ちをなくして、楽しむ。

　　　　子ども達は怒られなくなる。そんな世の中がなぜおかしいと思うのかね。」

　　　♪：ビリーブ（オルゴール）

すすむ「確かに最初はちょっと楽しかった。親のことをうざいなと思っていたこともたくさんあっ

　　　　た。何から何まで口を出してくるのが気に食わなかったこともあります。でも、それは、

　　　　そこには、僕達に対する気持があったからなのだと今では思います。最近のお父さん、

　　　　お母さん、先生達は、見た目は楽しそうだけど、全く怒らないけれど、何だか嫌だ。

　　　　だって、そこには僕達に対する気持がないのだから。それに、お父さんも、お母さんも

　　　　きっと、心のどこかで、僕達のことを心配しているはず。言いたいことを言いたいはず。

　　　　ねえ！父さん！母さん！父さん、母さんも、苦しいんじゃないの？」

父　　「・・・す・・・すすむ。」ふりしぼるように

母　　「すすむ・・・」

大臣　「な・・・何を言う。え、ええい！お前達、早く入れ替えてしまえ！」

子Ａ　「ま、待ってください。僕も（ここからは本当のエピソード）だから、大人達の心を返して

　　　　ください。」

子Ｂ　「僕からもお願いします。」

子Ｃ　「僕からも！」

大臣　「う・・・うう・・・え、ＳＰよ！」

　　　♪：老人登場の音楽＋周りが止まる

老人　「ああ・・・いたいた。ようやく見つけましたぞ。大臣。この鍵は返していただきますぞ。もういいではありませんか。この少年たちの言うとおりですじゃ。怒りは全て悪いもの

　　　　ではありません。心配から来る怒り、不安からくる怒り、その怒りに愛があるのならば、

　　　　それを変えては、奪ってはいけないのかもしれませんな。そもそも、この鍵は貴方様にぴったりと言って渡したつもりでしたが？私は、あなたの怒りを変えたくてこの鍵を渡したのですぞ？」

大臣　「な・・・ふう。どうやら、間違っていたのは私のようだな。本当に、ずっと怒っていたの

　　　　はわたしじゃないか。それを子どもの、大人のせいにして、心をめちゃくちゃにしてしま

　　　　ったのか。少年達よ。すまなかった。もう遅いかもしれないが、全ての心を元に戻すよ。

　　　　・・・手伝ってはくれないか？」

子全　「もちろんです。」

　　　♪明るい音楽＋ハートを運ぶ→ゆっくり暗転

エピローグ

　♪：そうじきの音　母が近づく

母　　「すすむ、何時だと思っているの！早く学校へ行きなさい。」

すすむ「はあ、この説教何回目だよ！本当にしつこいな！」

母　　「返事は！」

すすむ「うるっせーな！しつこいんだよ！」

母　　「何ですって？ちゃんと返事しなさい」

すすむ「返事ってどうやるんですかー？」ふざけながら

母　　「はいって言うのよ。」

すすむ「はいって言うのよ～」ふざけながら

母　　「もう！あなたからも何か言ってよ。」

　　　　新聞紙で顔を隠しているが、しばらくして覗かせて

父　　「・・・母さん・・・・・ごはん。」

母　　「きー二人ともさっさと出てけ～」母、そうじきを砲丸投げみたいに振り回す。

　　　　すすむ、あわててランドセルをかけて、外へ飛び出しかけるが、

すすむ「母さん！」

母　　「何よ！」

すすむ「いつも、ありがとう！」　　暗転

　　　♪：ブザー